

うるわしのみち愛宕古道街道の観光交流

「うるわしのみち愛宕古道街道を良くする会」推進協議会

○松山 和子 今井 昌代

1. 活動方針・目的

「もてなし空間、歴史のまち、憩いのみちに向けて」をテーマに、千年の歴史が息づく京都嵯峨鳥居本の地域の景観を愛し、守る心を次世代に受け継ぐ取り組みを推進している。

2. 活動内容

愛宕街道（京都嵯峨鳥居本）の自然、歴史、文化、風景をテーマとして、「NPOうるわしのみち・みちづくり」、「嵯峨野保勝会」、研究者等が基盤となって、多様な来訪者との交流を重ねながら、地域の魅力の発信と再発見を目指した魅力的な道空間を創造している。

「うるわしのみち愛宕古道街道を良くする会」推進協議会のメンバーである「嵯峨野保勝会」は、観光景勝地である愛宕街道（京都嵯峨鳥居本）の美化の維持や、観光地としての魅力向上のために地域住民によって自主的に組織された団体であり、地域の個性を活かしたイベントを展開している。特に1996年から始まった「愛宕古道街道灯し」は奥嵯峨の夏の風物詩となっている。また、『京都市嵯峨鳥居本町並み保存館』の管理運営を行い、伝統的建造物群保存地区における町並み保存の必要性を啓発する取り組みを行っている。

<平成23年度の主な取り組み>

- ・ ワークショップ（フラワーアレンジメント、ポーセリンアートなど）の開催
- ・ 愛宕古道街道灯しの開催
- ・ 絵画展の開催 など

3. 他の活動団体の参考となる事例

- ・ 地域の組織が基盤となりつつも、積極的に外部との交流を展開しながら、来訪者の視点に立った「もてなし空間づくり」を行っている。
- ・ 京都嵯峨芸術大学の学生と協力して、「愛宕古道街道灯し」を毎年開催している。イベントでは、地域住民や地元の小・中・高校生が制作した行灯が千基ほど並べられ、古い町並みが残る街道沿いがほのかな明かりで照らし出される。地元の小・中・高校・大学とも積極的に協力・交流しながら、昔からつづく地域の祭りをつくりあげている。これから100年先にも続く祭りであるように、みんなでつくる祭りを行っている。

4. 今後の課題等

- ・ 京都の著名な観光地である嵐山と隣接しながらも、愛宕街道まで足を運ぶ人が限られている。より深い京都を求める人が来訪する「隠れた静かな場所」という他にはない魅力をもたらしているものの、より多くの方が訪れ、この地域の魅力を知り、交流を重ねたいという地元の要求も強い。このバランスをいかに保ちながらよりよい環境整備、情報発信を図るかについての整合性が課題となっている。また、だんだんと高齢化になっていき、スタッフの確保が難しくなってきている。資金不足も課題の1つ。

うるわしのみち愛宕古道街道の 観光交流

「もてなし空間、歴史のまち、憩いのみち」に向けて

うるわしのみち 愛宕古道街道を良くする会推進協議会

- 嵯峨野保勝会
- NPO法人うるわしのまち・みちづくり
- 京都市



愛宕街道(京都鳥居本)とは・・・

- 京都市右京区嵯峨鳥居本地区
- 一部が国の「重要伝統的建造物群保存地区(S54)」に指定
- 京都市内で唯一の「日本風景街道(H18.国土交通省)」に選定
- 火伏せの神である「愛宕山 愛宕神社」の参詣の門前町として栄えた由緒ある街道



愛宕街道(京都鳥居本)主なスポット

景観資源

鳥居形送り火



歴史資源



愛宕念仏寺(おたぎねんぶつじ)



化野念仏寺

8000体の石仏・石塔群が並ぶ

嵯峨鳥居本の町並み
茅葺き屋根の民家が建ち並ぶ

みどころはまだ
まだいっぱい

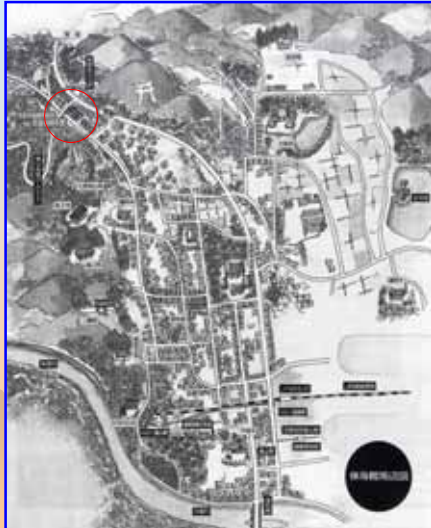
協議会メンバーである 嵯峨野保勝会の主な取り組み

- ❁ 「京都市嵯峨鳥居本町並み保存館」の管理運営
(町並み保存の必要性について啓発活動)
- ❁ 「愛宕古道街道灯し」の開催
- ❁ ワークショップ(フラワーアレンジメント、ポーセリンアートなど)の開催
- ❁ 絵画展の開催

など

京都嵯峨鳥居本町並み保存館指定管理者

保存館周辺図



指定期間

平成18年4月1日～

所在地

京都市右京区嵯峨鳥居本仙翁町8番地1他



保存館は、愛宕街道と瀬戸川にはさまれたこの地に明治の初め頃に建てられた民家を、一般の方々が見学できるように修理や整備をしたものです。

愛宕古道街道灯しの開催



「愛宕古道街道灯し」に、長年ご尽力いただいた瀬戸内寂聴氏

- 毎年、8月に化野念仏寺の千灯供養と地藏盆にあわせて「愛宕古道街道灯し」を開催
- 近隣の小中高5校、京都嵯峨芸術大学の学生、嵯峨野保勝会が中心となり、地域のみんなで作る祭り
- 子どもからお年寄りまで多くの方々をつくる行灯は、いまでは大小800基ほど灯る

みんなでつくる祭り ～ 100年先にもつづくように～



・地元の小中高校5校(広沢小学校、嵐山小学校、嵯峨小学校、嵯峨中学校、北嵯峨高等学校)も、まつりづくりに参加



・キャリア教育の一貫

もてなし空間づくり



もてなし空間づくり



最近の取り組み

- 2月4日、10日、11日の3日間で「第17回京都ミュージアムロード体験企画」ワークショップ
- バレンタイン企画「ハート型リースを愛にちなんで作りましよう！」開催



テーマ
行ってみよう！
京の文化めぐり

最近の取り組み

- 2月10、11日「第1回・京都嵯峨鳥居本町並み保存館・手づくり市企画」ワークショップ

テーマ
奥嵯峨



今後の課題・展開

課題

- 「京都の隠れた静かな場所」という他にはない魅力をいかに保ちながら、より多くの方にこの地域の魅力を知っていただき訪れてもらうか(観光交流のあり方)
- スタッフの高齢化、資金不足。

展望

- 常に訪れる人の目線にたち、地域の魅力を伝え、地元と外部とのつながり・連携をふかめながら、この地域のファンを国内外に増やしたい。